

何故戦はねばならぬか、又如何に戦ふべきか

一六

のは事實である。病氣の大半は口より入る事は日本でも熱帯でも同じであるが、南洋では其の上更に蚊と蛇とを用心しなければならぬ、彈丸に死ぬのは覺悟の上だが不攝生不注意の爲病氣や事故で死ぬ事は決して名譽ではない。尙附け加へる事は土人の女は殆ど全部花柳病を持つてをり又土人の女に戯れる事は土人全部を敵にする結果になる事は十分考へて置かねばならぬ。

三、戦争はどういふ経過を辿るか

1. 遠洋航海から上陸戦闘へ

作戦地は何れも臺灣から千數百哩離れた南洋にある、汽船に乗つて一週間以上十日も近くかゝるところもある。此の遠い海上を數百艘の軍艦や船で渡るのであるが考へて見れば我等の祖先は既に三百年の昔御朱印船といふ木造の帆船で此の荒浪を征服して貿易し、或は八幡船と稱して武力を以て縦横に活躍したのである。連續數日の窮屈な船舶輸送が終つたら抵抗する敵を海岸

0317

⑨
で撃破して上陸を強行しなければならぬ。上陸作戦は昔から難しいものと考えられたのであるが、精銳無比の日本軍は未だ曾つて上陸作戦の成功しなかつた例はない。十分自信を持ち十分準備を整へて世界を驚かすやうな戦果を挙げねばならぬ。

2. 陣地や要塞を攻略す

南洋各地の敵は少數の白人軍隊を中堅とし土民を強制徴集して急造した粗製濫造の軍隊であつて支那兵より弱いが大砲や戦車や飛行機を相當に持つて居る事を考へて弱敵と雖も侮つてはならぬ。之等は大抵要點に陣地を占領し或は要塞に據つて抵抗するであらうから上陸海岸で敵をたゞき潰し、休む暇もなく熱地を行軍し、或は自動車で急進して敵陣地を攻撃しなければならぬ。

又敵の準備した火力を避けて不意に乗ずる爲には密林地帯（ジャングル地帯）を突破したり、水田、濕地を跋涉する事も屢々起るであらう。

戦争はどういふ経過を辿るか

一七

67

0318

戦争はどういふ経過を辿るか

3. 資源を確保し要地を護る

敵の抵抗を除いた後には石油資源を確保したり、重要工場や港灣や鐵道を警備して地上、空中、海上の敵に乗ずる隙を與へない様に萬全を期せねばならぬ。此の際は少數の兵力で廣地域を守備するのが普通であるから障礙物を造つたり、陣地を築いたり土民を懐柔利用したり種々工夫を回らさねばならぬ。

4. 長期の駐留、治安の肅正に任ず

戦争は恐らく長引く事を覺悟し長期對陣の諸準備を進め現地の物資を出来るだけ利用する事を圖ると共に兵器や被服の諸資材を愛護する事が大切である、遠い海上を遙々日本から輸送する事は非常な負擔であるから最少限のもので戦鬪し生活すると共に暑さに負けない様特に病氣に罹らぬ注意が何より必要である。

0319